CJ

当季雑詠

特選

刈谷 志津 選

童心に返る水切り赤蜻蛉

により、皆子どもの頃の懐かしい思い出に返る。抜群の表現力によ 止まっているよ竿の先」と「遊む。具体的に水切りと赤蜻蛉の描出 は赤蜻蛉が見える。そこで三木露風の童謡「夕焼け小焼けの赤蜻蛉 遊ぶ水切り石の思い出に浸った。ふと目を開けると、庭の杭の先に いる。作者は目を閉じると少年の日が蘇り、友達と川に石を投げて なるが、逆に子どもの頃の記憶は脳にある海馬により、よく覚えて 人は年を取ると、物事をすぐに忘れる状態がしばしば起こるように (評) 「童心に返る」とは、子どものような純真な心に返ることで、

Ì 皿洗へば更に白 ()

私の最初のカレーとの出合いであった。本来インドの料理であるカ てきた「カレー」と言う珍しいものを、鍋一杯に作って食べたのが 秋の別称である。カレーと言えば小さい時、年上の従姉が学校で習っ 季語「白い秋」は白秋と言い、五行説で白は秋に配色され、

コスモスを囲み娘と写メ競ふ

かにも清々しく、その清らかさに感動し「白い秋」と詠み、一句と の皿が、色も風味も共に際立つ。そのカレー皿を洗い上げると、い □」にも色々あるが、やはり黄色を帯びた茶褐色を盛るには、白色 レーが、今では日本独自の料理として定着している。 揚句の「カレー

した。日常が俳句と共にある作者の詩的感性が光り、白い秋が眩しい。

スマートフォンを手に風に揺れ合うコスモスを囲み、右に左に角度 ている。揚句も咲き揃ったコスモスを写そうと近くに住む娘さんと 主体としたイベントが各地で開催され、楽しい憩いの集いが広がっ ある。栽培が容易なため、至る所の空き地に植えられ、コスモスを な中にもしっかりとして可憐なコスモスは、秋を代表とする草花で **〔評〕コスモスはメキシコ産で和名を「秋桜」とも言う。しなやか**

> 二個ぎりの甘柿先ずは仏壇 身に沁むや母の年越え母を恋う まったりと喉過ぐワイン冬隣り 蟋蟀も魔女もみんな優しき声闇の夜や孤独に落ちる流れ星 若々しい笑顔も見えてくる。今の世にふさわしい、親子の新しい触 の時間はいつしか懐かしい思い出となるであろう。生き生きとして を変え撮影の技を競った。さて軍配は?こうしたさりげない母と娘 灯油買い冬の匂いが懐しい 赤い羽根官僚の衿に誇らし 入選 れ合い方を感じる楽しい一句。 柚子の香にしみじみ思う過去未来 木犀の香の昼となく夜となく 行く秋やどこまで帰る旅の人 津 田 津田 大川 渡邊ゆかり 渡邊ゆかり 島村かりん 島村かりん

一句抄

朝寒や心身共に起き難し

秋薔薇白ばかりなり挙式の日耳かせば確かに蚯蚓鳴いているコスモスは風に伏しても満開に 雲一つなき秋の空御来高 廃屋の荒れたる庭に石路の花 狐茄子やつと一つが実を結ぶ 居酒屋のドアを開ければ吾亦紅雑草と呼ばれ果つるや秋の野辺 薄闇の残月清し頭垂る 天高し鏑矢の的弾けとぶ からと風は野山の枯れ 誘

当季雑詠_ 締切/毎月1日

投句先 教育委員会事務局

今月のこども川 柳

どうぐたち みんなでかいわ してるかな 今橋 寧々

そうになった。今日は働きが無かったと、それぞれ れは自身への反省でもあるのでしょうね。 に今日一日を反省している道具箱の中の会話。そ になった。鉋(カンナ)は刃が出過ぎて材料を痛め は、使う者が力不足でくねくねと歯が折れそう 【評】今日はよく働いたと鎚(ツチ)鋸(ノコギリ) 3 年

節弥

しぜんはね こころをいやす たからもの

らぎと爽快な気分になると言われています。人間 に入り樹木の発する香気を浴びると(森林浴)安 日頃の暮らしの中の不安からくるストレス、森林 は自然と共に暮らしていると言ってもいいでしょ 【評】森の緑を眺めると目の疲れが回復します。 4年 濱田 夢芽

久美

じゅぎょうより うしろきになる さんかんび ともだちと なかよしになる かぎをもつ 枝川小 3 年 3 年 今橋 美紅

学校は ユメの世界だ 伊野小 楽しいよ 4年 森岡日茉里

ジャングルジム 登るとジェットき 近くなる 楽しいな 何泊しても ものたりない 6年 中村

島村かりん

節弥

博子

豊子

仁淀川 秋の葉のせて 長沢小 流れゆく 1 年 侑真

秋になる たくさん本を よもうかな 川内小 6年 市川

笑っちゃいけない しんぼうだ 川内小 伊野南小 4年 河本 初花 6年 北添 遥菜

渡邊ゆかり

※選評は、川柳漣会のみなさんにお願いしています。願いします。) お待ちしています。(応募は各小学校を通じてお 1月16日(水)です。たくさんのみなさんの応募を んを対象に募集しています。次回提出締め切りは 「こども川柳」は町内全小学校の児童のみなさ